

# 肺炎は**かぜ**と勘違いしやすい病気!

肺炎球菌による感染症にかかることが多いのは、5歳未満の乳幼児や**65歳以上**の方です。5歳未満の乳幼児では免疫機能が未発達のため肺炎球菌に対してうまく免疫が働きません。また、**65歳以上**の方も見た目は元気なようでも免疫機能が低下し始めていますので、感染症にかかりやすくなっています。

肺炎は**“かぜをこじらせたもの”**と考えられがちですが、**肺炎と**かぜ****は違います。一般的な**かぜ**よりも症状が重くなります。

**かぜ** (Cold) symptoms:

- 鼻水 (Nasal discharge)
- 微熱 (Low-grade fever)
- せき (Cough)
- くしゃみ (Sneezing)

**インフルエンザ** (Influenza) symptoms:

- 頭痛 (Headache)
- 高熱 (High fever)
- のどの痛みや、せき (Sore throat and cough)
- 強い悪寒 (Severe chills)
- 全身のだるさ (General fatigue)
- 筋肉・関節の痛み (Muscle and joint pain)

**肺炎** (Pneumonia) symptoms:

- 高熱 (High fever)
- 胸苦 (Chest tightness)
- 胸痛 (Chest pain)
- 食欲不振 (Loss of appetite)
- 全身のだるさ (General fatigue)
- せき、痰(黄色~緑色) (Cough, yellowish-green sputum)

高齢者の肺炎の場合、熱が出ないこともあります。

肺炎は日本人の死因の中で**第3位**となり、肺炎で亡くなる方は年間**約12万人**に達します。その内の**96.8%**が**65歳以上**です。肺炎にかからないために**ワクチン接種**などの予防対策が重要です。**インフルエンザワクチン**の接種をあわせて行うことで、さらに**肺炎予防**につながります。